

奨学金と
若者貧困

教育の
国際比較

教育と
多文化共生

奨学金
問題

教育から 共生社会を 構想する

教育のあり方をみれば、この社会の行く末がどうなるのかは良く分かります。教育は、社会の未来を担う人間の可能性を引き出すために存在しているからです。しかし、格差や貧困が蔓延して生活困窮が進むことによって、また、人種や宗教上の理由で社会から遠ざげられることによって、教育を受ける権利は時に無残にも剥奪されることがあります。本年度の公開講座は、こうした日本や海外の教育施策の“今”を論じていただくために、学内外4人の先生をお呼びしました。どうぞふるってご参加ください。

第1回

10/31 **土**

15:30~17:50

第2回

11/14 **土**

15:30~17:50

入場
無料

申込
不要

会場

土樋キャンパス8号館4階 841教室

どなたでも参加できます
直接会場にお越しください

講座スケジュール

第1回

10/31 **土**

15:30~15:35 開講式

15:40~16:40 講演／どのように奨学金と向き合ったか
経緯・研究・活動・課題

北海道 学費と奨学金を考える会 元代表 **藤島 和也** 氏



16:50~17:50 講演／奨学金問題から見えてくる若者の貧困

中京大学国際教養学部教授 **大内 裕和** 氏

講座スケジュール

第2回

11/14 **土**

15:30~16:30 講演／教育から日本の格差と貧困を考える
ー国際比較からみた日本の姿ー

本学経済学部共生社会経済学科准教授 **佐藤 滋**



16:40~17:40 講演／教育と多文化共生との関わりについて

ードイツにおけるイスラム教徒移民による教育への取り組みを中心にー
本学経済学部共生社会経済学科准教授 **石川 真作**

17:45~17:50 閉講式

